# ≪よこしん≫
# 景況レポート

NO.136
2025年7月

YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION


景気動向調査 …… 1

2025年4～6月期実績、7～9月期予想

◇ 全業種総合　業況・売上額ＤＩ共に悪化　2
来期は業況・売上額・収益ＤＩ共に悪化する見込み

◇ 製造業　業況・売上額ＤＩ共に悪化　3
来期の業況ＤＩは改善、売上額・収益ＤＩ共に悪化の見込み

◇ 卸売業　業況・収益ＤＩ共に改善　4
来期も業況・収益ＤＩ共に改善が継続する見込み

◇ 小売業　業況・売上額ＤＩ共に悪化　5
来期も業況・売上額ＤＩ共に悪化が継続する見込み

◇ サービス業　業況ＤＩは悪化が継続
来期の業況ＤＩは改善の見込み

◇ 建設業　業況ＤＩは横ばい、売上額・収益ＤＩ共に悪化　6
来期の業況ＤＩは悪化の見込み

◇ 不動産業　業況ＤＩは改善、売上額・収益ＤＩ共に悪化
来期も業況ＤＩは改善、売上額・収益ＤＩ共に横ばいの見込み

◇ コメント　7

特別調査「5年後（2030年）以降を見据えた中長期的な経営について」…… 8


・最低賃金が上昇した際の対応について
　雇用や労働時間の削減　わからない（４５.８％）
　最低賃金引上げの対応策　特に対応は行わない（２８.１％）
・企業における社会保険負担の増加について
　社会保険負担の増加による不安感　不安を感じている（５５.１％）
　社会保険負担の増加による経営面への影響　賃金引き上げの妨げになる（２３.６％）
・人口の減少や高齢化の進展への対応について
　生産面での対応　現時点では考えていない（４３.１％）
　販売面での対応　現時点では考えていない（５６.０％）
・５年後を見据えた事業承継の検討状況について　２０３０年までに経営者変更を予定せず（４０.６％）
・ＳＤＧｓへの取組みについて　省エネ（３３.６％）

このまちの未来をともにつくる
横浜信用金庫

# 景気動向調査　2025 年 4～6 月期実績、7～9 月期予想

## 《 概 況 》

### 業況DI（全業種総合）は悪化、来期も悪化が継続する見込み

今期の全業種総合業況判断ＤＩは、前期比３.７ポイント低下の９.５と悪化した。

製造業は前期比５.８ポイント低下の４.９、非製造業は同２.６ポイント低下の１１.８となった。

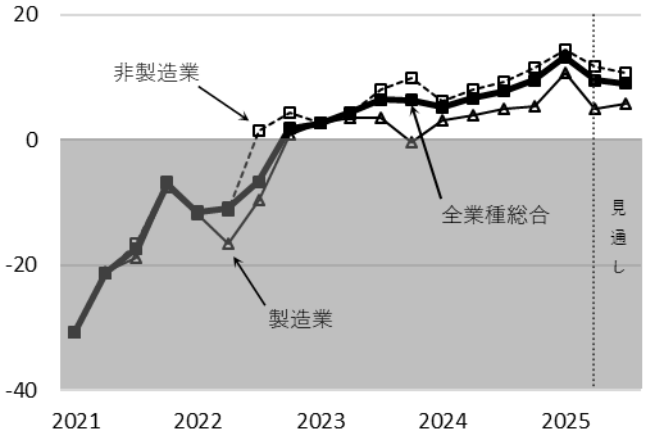
来期の全業種総合業況判断ＤＩは、今期比０.４ポイント低下の９.１と悪化を見込む。

＜ 業況ＤＩ天気図＞

| | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 13.2 | 9.5 | 9.1 | ↘ |
| 製造業 | 10.7 | 4.9 | 5.8 | ↗ |
| 非製造業 | 14.4 | 11.8 | 10.7 | ↘ |
| 卸売業 | 8.5 | 9.9 | 11.3 | ↗ |
| 小売業 | 3.3 | ▲12.1 | ▲17.6 | ↘ |
| サービス業 | 10.8 | 9.9 | 11.9 | ↗ |
| 建設業 | 32.5 | 32.5 | 28.3 | ↘ |
| 不動産業 | 9.0 | 12.1 | 15.2 | ↗ |

低調 ←　→ 好調

業種別業況判断ＤＩ推移




全業種総合業況判断DI推移

**≪調査要領≫**

- 調査時期／2025年6月上旬
- 調査対象／当金庫取引先（法人･個人事業者）
- 調査方法／営業店職員による聞き取り調査
- 分析方法／ＤＩ（Diffusion Index）による分析
  ※ＤＩとは、「良い・増加・上昇・過剰」の回答全体に占める割合と「悪い・減少・下降・不足」の回答全体に占める割合との差を表し、景気判断や景気変化の方向を計る数値

| | 調査先 | 回答先 | 回答率 |
|---|---|---|---|
| 製造業 | 225 | 225 | 100.0% |
| 卸売業 | 71 | 71 | 100.0% |
| 小売業 | 93 | 91 | 97.8% |
| サービス業 | 102 | 101 | 99.0% |
| 建設業 | 120 | 120 | 100.0% |
| 不動産業 | 67 | 66 | 98.5% |
| 合　計 | 678 | 674 | 99.4% |

# 全業種総合

（回答先 674）

＜ 今 期 ＞

**業況･売上額 DI 共に悪化**
**収益 DI は改善を継続**

今期の全業種総合業況判断ＤＩ（良い－悪い）は、前期比３.７ポイント低下の９.５となり、悪化に転じた。

売上額ＤＩ（増加－減少）は前期比４.５ポイント低下の１５.２、収益ＤＩ（増加－減少）は同０.９ポイント上昇の８.３となった。

販売価格ＤＩ（上昇－下降）は前期比４.１ポイント低下の２８.８、仕入価格ＤＩ（上昇－下降）は同６.３ポイント低下の４２.０となった。

在庫ＤＩ（過剰－不足）は前期比０.９ポイント低下の０.０、資金繰りＤＩ（楽－苦しい）は同０.８ポイント低下の－２.７となった。

借入実施企業割合は２５.８％と、前期比０.３ポイント低下した。設備投資実施企業割合は、同１.６ポイント上昇の１４.０％であった。

雇用面では人手ＤＩ（過剰－不足）が、前期比１.６ポイント上昇の－２０.５となった。

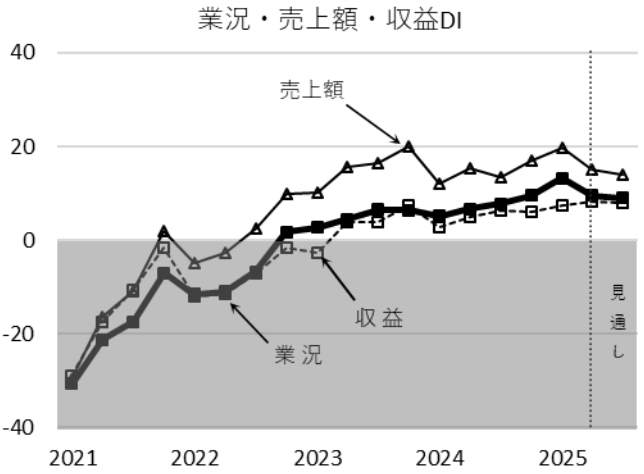
＜ 来 期 ＞

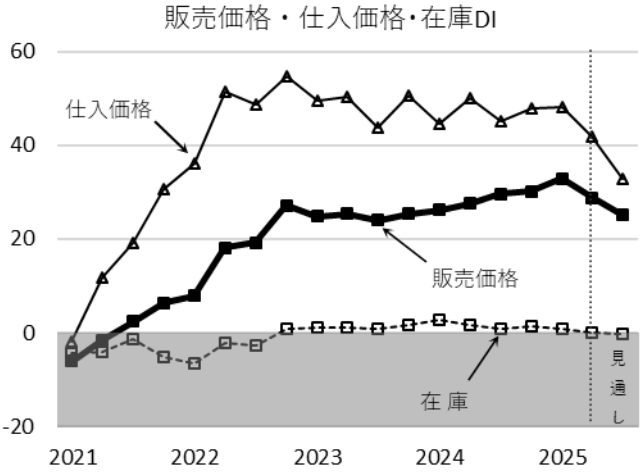
**来期は業況･売上額･収益DI共に**
**悪化する見込み**

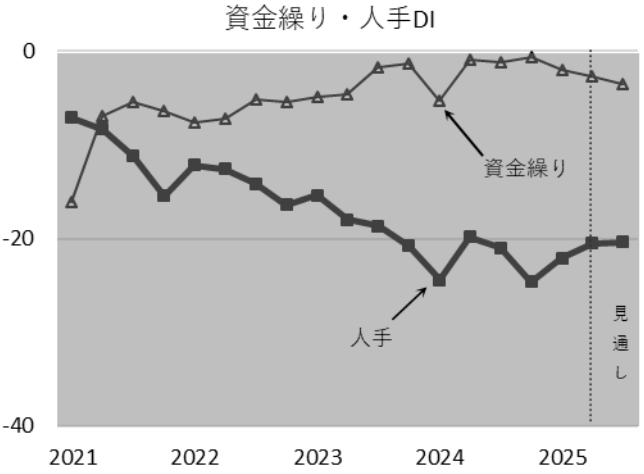
来期の全業種総合業況判断ＤＩは今期比０.４ポイント低下の９.１、売上額ＤＩは同１.１ポイント低下の１４.１、収益ＤＩは同０.３ポイント低下の８.０となり、業況・売上額・収益ＤＩは共に悪化を見込んでいる。

販売価格ＤＩは今期比３.７ポイント低下の２５.１を見込んでいる。仕入価格ＤＩは同９.１ポイント低下の３２.９を見込む。

人手ＤＩは今期比０.２ポイント上昇の－２０.３と改善を見込んでいる。




＜ 全業種総合 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 7.7 | 9.5 | 13.2 | 9.5 | 9.1 | ↘ |
| 売上額 | 13.5 | 17.1 | 19.7 | 15.2 | 14.1 | ↘ |
| 収益 | 6.4 | 5.9 | 7.4 | 8.3 | 8.0 | ↘ |
| 販売価格 | 29.6 | 30.1 | 32.9 | 28.8 | 25.1 | ↘ |
| 仕入価格 | 45.0 | 47.9 | 48.3 | 42.0 | 32.9 | ↘ |
| 在庫 | 0.7 | 1.4 | 0.9 | 0.0 | ▲ 0.3 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 1.2 | ▲ 0.6 | ▲ 1.9 | ▲ 2.7 | ▲ 3.6 | ↘ |
| 人手 | ▲ 21.0 | ▲ 24.6 | ▲ 22.1 | ▲ 20.5 | ▲ 20.3 | ↗ |

# 製造業

（回答先 225）

＜ 今 期 ＞

## 業況・売上額 DI 共に悪化

今期の業況判断ＤＩは、前期比５.８ポイント低下の４.９となった。

売上額ＤＩは前期比４.０ポイント低下の９.８、収益ＤＩは同０.９ポイント上昇の７.６であった。

販売価格ＤＩは前期比２.２ポイント低下の２４.０、原材料価格ＤＩは同７.１ポイント低下の４１.３となった。

原材料在庫ＤＩは、前期比横ばいの２.２、資金繰りＤＩは、同３.１ポイント低下の－４.４となった。

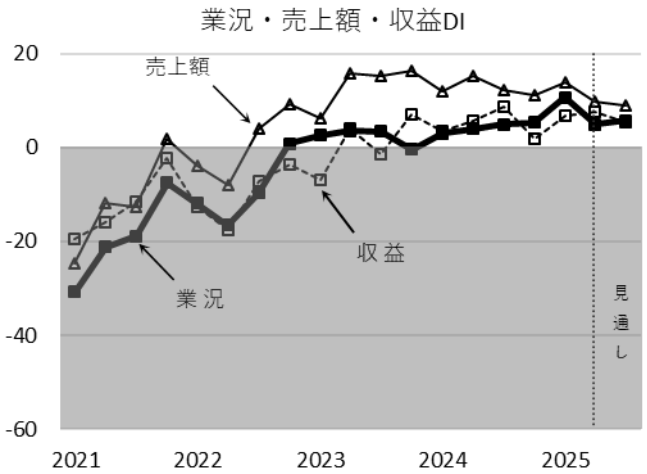
借入実施企業割合は２６.７％と、前期比４.０ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は、同２.６ポイント上昇の１７.８％であった。

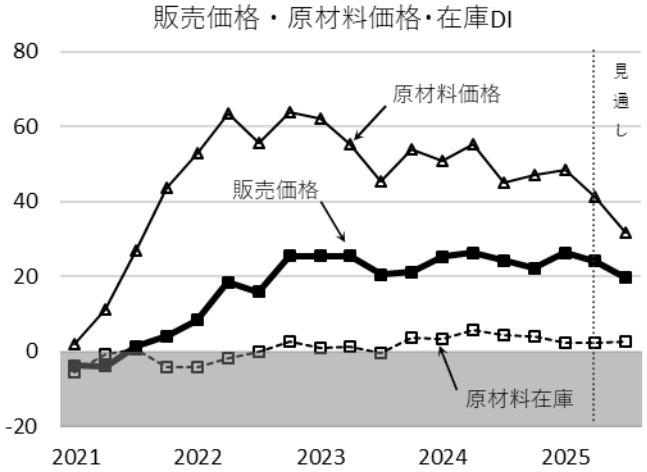
人手ＤＩは、前期比１.８ポイント上昇し、－２０.４となった。

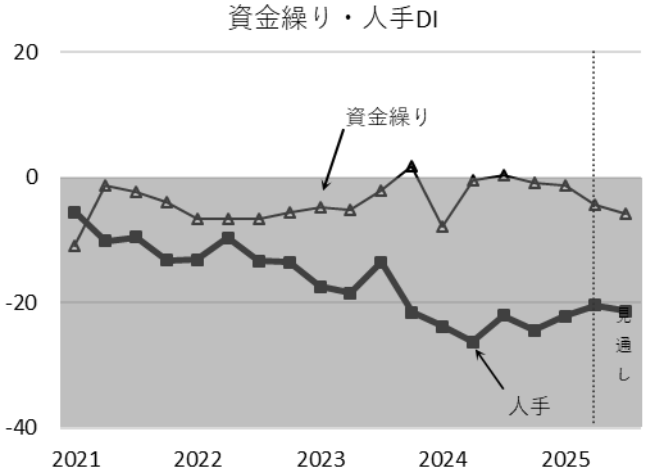
＜ 来 期 ＞

## 来期の業況 DI は改善、売上額・収益 DI 共に悪化の見込み

来期の業況判断ＤＩは今期比０.９ポイント上昇の５.８、売上額ＤＩは同０.９ポイント低下の８.９、収益ＤＩは同２.３ポイント低下の５.３を見込んでいる。




＜ 製造業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 4.9 | 5.3 | 10.7 | 4.9 | 5.8 | ↗ |
| 売上額 | 12.3 | 11.1 | 13.8 | 9.8 | 8.9 | ↘ |
| 収益 | 8.8 | 1.8 | 6.7 | 7.6 | 5.3 | ↘ |
| 販売価格 | 24.2 | 22.2 | 26.2 | 24.0 | 19.6 | ↘ |
| 原材料価格 | 44.9 | 47.1 | 48.4 | 41.3 | 31.6 | ↘ |
| 原材料在庫 | 4.4 | 4.0 | 2.2 | 2.2 | 2.7 | ↗ |
| 資金繰り | 0.4 | ▲ 0.9 | ▲ 1.3 | ▲ 4.4 | ▲ 5.8 | ↘ |
| 人手 | ▲ 22.0 | ▲ 24.4 | ▲ 22.2 | ▲ 20.4 | ▲ 21.3 | ↘ |

**＜ 個別業種 ＞**

**改善が1業種、悪化が6業種**

**＜今 期＞**

10 社以上回答のあった個別業種（７業種）の業況判断ＤＩは、改善が１業種、悪化が６業種であった。

精密機械器具は前期比２８.０ポイント上昇の２３.８となった。

一方、電気機械器具は前期比２８.０ポイント低下の５.３、一般機械器具は同２７.１ポイント低下の－７.１となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは２業種で改善、３業種で横ばい、２業種で悪化を見込んでいる。

＜注＞10 先以上回答のあった個別業種（７業種）
プラスチック製品、金属製品・その他、金属プレス・メッキ、
一般機械器具、電気機械器具、精密機械器具、食料品

＜ 業種別 業況判断DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 部品加工型 | 2.8 | 0.9 | 4.0 | 1.8 | 6.2 | ↗ |
| プラスチック製品 | ▲ 11.1 | 0.0 | ▲ 5.0 | ▲ 5.6 | ▲ 5.6 | → |
| 金属製品・その他 | 8.0 | 1.3 | 11.8 | 8.8 | 12.5 | ↗ |
| 金属プレス・メッキ | ▲ 7.7 | 0.0 | ▲ 23.1 | ▲ 26.7 | ▲ 13.3 | ↗ |
| 機械器具型 | 7.0 | 19.7 | 17.1 | 11.3 | 4.8 | ↘ |
| 一般機械器具 | ▲ 21.4 | 38.5 | 20.0 | ▲ 7.1 | ▲ 28.6 | ↘ |
| 電気機械器具 | 4.2 | 22.2 | 33.3 | 5.3 | 0.0 | ↘ |
| 精密機械器具 | 26.9 | 11.5 | ▲ 4.2 | 23.8 | 23.8 | → |
| 消費財型 | 8.3 | 0.0 | 15.4 | 12.0 | 16.0 | ↗ |
| 食料品 | 6.7 | 0.0 | 21.4 | 14.3 | 14.3 | → |

## 非製造業

（回答先 449）

### ■ 卸売業（ 回答先 71 ）

**業況･収益 DI 共に改善、**
**来期も業況･収益 DI 共に改善が継続する見込み**

**＜今 期＞**

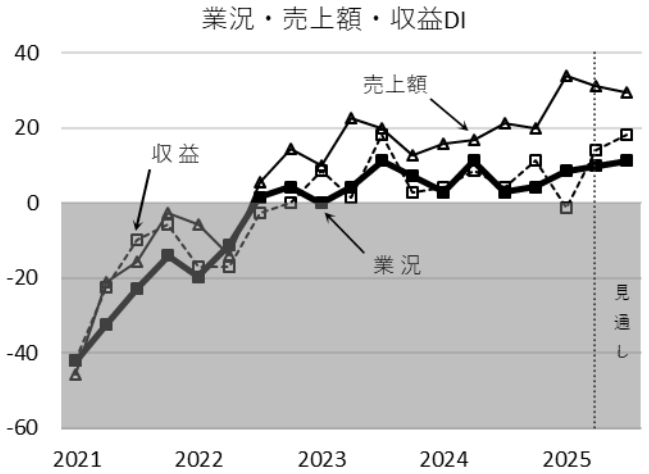
今期の業況判断ＤＩは、前期比１.４ポイント上昇の９.９となった。

売上額ＤＩは前期比２.８ポイント低下の３１.０、収益ＤＩは同１５.５ポイント上昇の１４.１となった。

販売価格ＤＩは前期比４.２ポイント低下の４２.３、仕入価格ＤＩは同５.６ポイント低下の５０.７となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比１.４ポイント上昇の１１.３、売上額ＤＩは同１.４ポイント低下の２９.６、収益ＤＩは同４.２ポイント上昇の１８.３を見込んでいる。




＜ 卸売業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 2.8 | 4.2 | 8.5 | 9.9 | 11.3 | ↗ |
| 売上額 | 21.1 | 19.7 | 33.8 | 31.0 | 29.6 | ↘ |
| 収益 | 4.2 | 11.3 | ▲ 1.4 | 14.1 | 18.3 | ↗ |
| 販売価格 | 43.7 | 47.9 | 46.5 | 42.3 | 40.8 | ↘ |
| 仕入価格 | 50.7 | 57.7 | 56.3 | 50.7 | 42.3 | ↘ |
| 在庫 | 5.6 | 7.0 | 4.2 | 2.8 | 1.4 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 8.5 | ▲ 2.8 | ▲ 4.2 | ▲ 1.4 | ▲ 1.4 | → |
| 人手 | ▲ 17.4 | ▲ 16.9 | ▲ 12.7 | ▲ 14.1 | ▲ 18.3 | ↘ |

## ■ 小売業 （ 回答先 91 ）

**業況･売上額 DI 共に悪化、**
**来期も業況･売上額 DI 共に**
**悪化が継続する見込み**

**＜今 期＞**

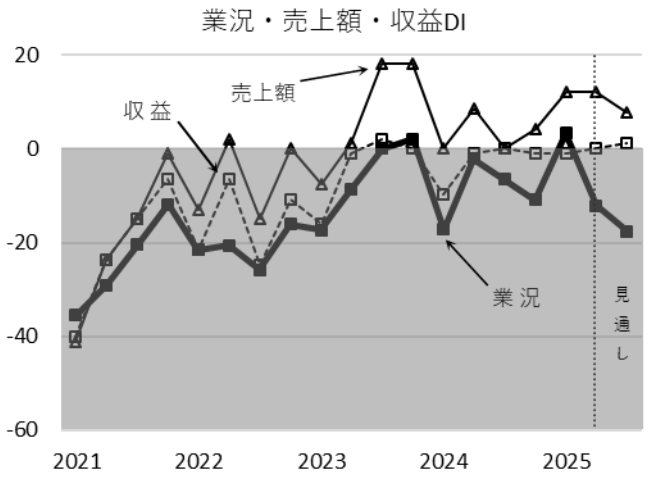
今期の業況判断ＤＩは、前期比１５.４ポイント低下の－１２.１となった。

売上額ＤＩは前期比0.1ポイント低下の１２.１、収益ＤＩは同1.1ポイント上昇の0.0となった。

販売価格ＤＩは前期比０.４ポイント低下の３８.５、仕入価格ＤＩは同7.1ポイント上昇の５２.7となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比5.5ポイント低下の－１７.６、売上額ＤＩは同４.４ポイント低下の７.７、収益ＤＩは同１.１ポイント上昇の１.１を見込んでいる。




＜ 小売業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | ▲ 6.5 | ▲ 10.9 | 3.3 | ▲ 12.1 | ▲ 17.6 | ↘ |
| 売上額 | 0.0 | 4.3 | 12.2 | 12.1 | 7.7 | ↘ |
| 収益 | 0.0 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | 0.0 | 1.1 | ↗ |
| 販売価格 | 44.6 | 37.0 | 38.9 | 38.5 | 35.2 | ↘ |
| 仕入価格 | 57.6 | 48.9 | 45.6 | 52.7 | 41.8 | ↘ |
| 在庫 | ▲ 7.6 | ▲ 2.2 | ▲ 2.2 | 0.0 | ▲ 2.2 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 16.3 | ▲ 7.6 | ▲ 12.2 | ▲ 11.0 | ▲ 12.1 | ↘ |
| 人手 | ▲ 7.6 | ▲ 20.7 | ▲ 10.0 | ▲ 13.2 | ▲ 11.0 | ↗ |

## ■ サービス業 （ 回答先 101 ）

**業況DIは悪化が継続、**
**来期の業況DIは改善の見込み**

**＜今 期＞**

今期の業況判断ＤＩは、前期比0.９ポイント低下の9.9となった。

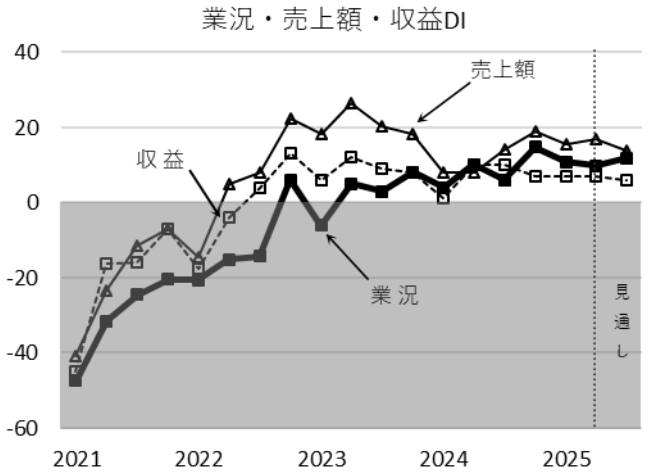
売上額ＤＩは前期比1.1ポイント上昇の１６.８、収益ＤＩは同横ばいの6.9となった。

料金価格ＤＩは前期比１１.６ポイント低下の１８.８、材料価格ＤＩは同９.６ポイント低下の２６.7となった。

人手ＤＩは、前期比3.7ポイント上昇の－２５.７となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比2.0ポイント上昇の１１.９、売上額ＤＩは同２.９ポイント低下の１３.９、収益ＤＩは同１.０ポイント低下の5.9を見込んでいる。




＜ サービス業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 6.1 | 14.9 | 10.8 | 9.9 | 11.9 | ↗ |
| 売上額 | 14.1 | 18.8 | 15.7 | 16.8 | 13.9 | ↘ |
| 収益 | 10.1 | 7.0 | 6.9 | 6.9 | 5.9 | ↘ |
| 料金価格 | 21.2 | 24.8 | 30.4 | 18.8 | 14.9 | ↘ |
| 材料価格 | 34.3 | 35.6 | 36.3 | 26.7 | 18.8 | ↘ |
| 資金繰り | 3.0 | ▲ 1.0 | 0.0 | ▲ 1.0 | 1.0 | ↗ |
| 人手 | ▲ 29.6 | ▲ 30.7 | ▲ 29.4 | ▲ 25.7 | ▲ 23.8 | ↗ |

## ■ 建設業 （ 回答先 120 ）

**業況DI は横ばい、売上額･収益DI 共に悪化、**
**来期の業況DI は悪化の見込み**

**＜今 期＞**

今期の業況判断ＤＩは、前期比横ばいの３２.５となった。

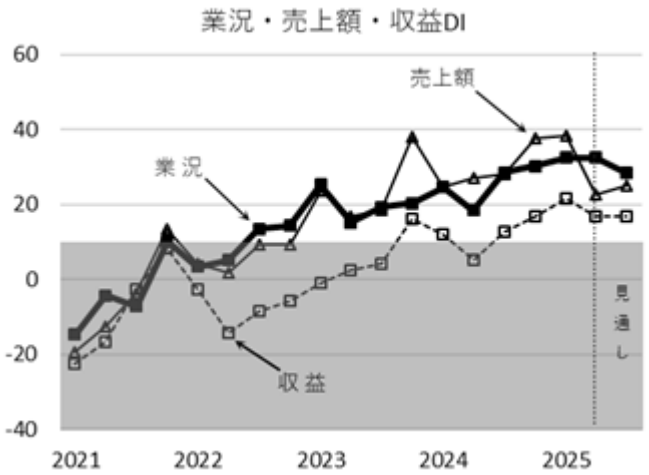
売上額ＤＩは前期比１５.８ポイント低下の２２.５、収益ＤＩは同5.0ポイント低下の１６.７となった。

請負価格ＤＩは前期比９.２ポイント低下の２７.５、材料価格ＤＩは同１５.８ポイント低下の４４.２となった。

人手ＤＩは、前期比５.０ポイント上昇の－３１.７となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比４.２ポイント低下の２８.３、売上額ＤＩは同２.５ポイント上昇の２５.０、収益ＤＩは同横ばいの１６.７を見込んでいる。




＜ 建設業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 28.4 | 30.3 | 32.5 | 32.5 | 28.3 | ↘ |
| 売上額 | 28.2 | 37.8 | 38.3 | 22.5 | 25.0 | ↗ |
| 収益 | 12.8 | 16.8 | 21.7 | 16.7 | 16.7 | → |
| 請負価格 | 30.8 | 33.6 | 36.7 | 27.5 | 25.0 | ↘ |
| 材料価格 | 47.0 | 54.6 | 60.0 | 44.2 | 35.0 | ↘ |
| 在庫 | 0.0 | ▲ 0.8 | 0.8 | 3.3 | 1.7 | ↘ |
| 資金繰り | 10.3 | 7.6 | 2.5 | 3.3 | 0.0 | ↘ |
| 人手 | ▲ 33.9 | ▲ 36.1 | ▲ 36.7 | ▲ 31.7 | ▲ 30.0 | ↗ |

## ■ 不動産業 （ 回答先 66 ）

**業況DI は改善、売上額･収益DI 共に悪化、**
**来期も業況DI は改善、**
**売上額･収益DI 共に横ばいの見込み**

**＜今 期＞**

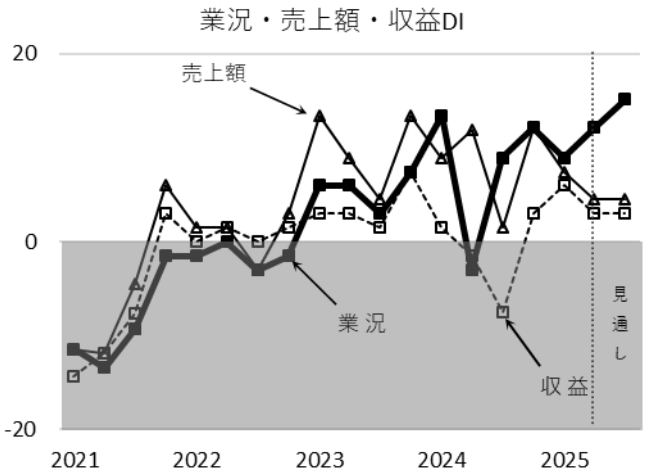
今期の業況判断ＤＩは前期比３.１ポイント上昇の１２.１となった。

売上額ＤＩは、前期比3.0ポイント低下の4.5、収益ＤＩは同3.0ポイント低下の3.0となった。

販売価格ＤＩは前期比４.９ポイント上昇の３４.８、仕入価格ＤＩは同０.９ポイント低下の３９.４となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比３.１ポイント上昇の１５.２、売上額ＤＩは同横ばいの4.5、収益ＤＩは同横ばいの3.0を見込んでいる。




＜ 不動産業 主要DI＞

| | 2024年 7-9月 | 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | （予想） 7-9月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 9.0 | 12.1 | 9.0 | 12.1 | 15.2 | ↗ |
| 売上額 | 1.5 | 12.1 | 7.5 | 4.5 | 4.5 | → |
| 収益 | ▲ 7.5 | 3.0 | 6.0 | 3.0 | 3.0 | → |
| 販売価格 | 22.4 | 30.3 | 29.9 | 34.8 | 28.8 | ↘ |
| 仕入価格 | 34.3 | 45.5 | 40.3 | 39.4 | 33.3 | ↘ |
| 在庫 | ▲ 4.5 | ▲ 4.5 | ▲ 3.0 | ▲ 16.7 | ▲ 13.6 | ↗ |
| 資金繰り | ▲ 4.5 | ▲ 1.5 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | → |
| 人手 | ▲ 4.5 | ▲ 9.1 | ▲ 10.4 | ▲ 9.1 | ▲ 9.1 | → |

## ≪ コ メ ン ト ≫

**＜製造業＞**

- 受注単価交渉は継続しているものの、原材料仕入れ額の増加分を単価に転嫁できておらず、利益率が低い状況が継続。〔一般機械器具〕
- 主要取引先からの受注増加により、売上が大幅に増加。〔その他〕
- 中小企業向けの補助金終了に伴い、設備の買い控えにより受注減少し売上が減少。〔一般機械器具〕

**＜卸売業＞**

- 仕入単価は上昇しているが、販売単価に転嫁できているため利益率が良化。〔建築材料〕
- 自動車業界の動向が明確にならないため、先行きが不透明。〔その他〕
- 個人販売や飲食店への卸売が回復し、業況が改善。〔農畜産物・水産物〕

**＜小売業＞**

- 仕入価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できており業況は好調。〔その他〕
- 従業員の減少により休業日を設けた。休業日の導入による収益状況の変化を確認していく。〔飲食料品〕
- 人手不足のため採用に力を入れているが、採用コストも増加している状況。〔飲食料品〕

**＜サービス業＞**

- 取扱説明書の電子化により、受注が減少。〔その他〕
- ドライバー不足が深刻。〔その他〕
- メイン取引先との価格交渉により単価が上昇し、利益率が改善。〔その他〕

**＜建設業＞**

- 地方の災害対策工事関連の受注により、収益増加。〔識別工事〕
- 個人宅のリフォーム依頼が増加も、最低限のリフォームが多く単価が低迷。〔総合工事〕
- 材料費等の上昇分を工事単価に転嫁できず利益率が低下。〔識別工事〕

**＜不動産業＞**

- 入居率の低下により、収益率が悪化。〔不動産代理業・仲介業〕
- 鶴見エリアは人口が増加していることもあり、不動産価格の上昇が継続。〔建売業・土地売買業〕

## 特別調査「5年後（2030年）以降を見据えた中長期的な経営について」

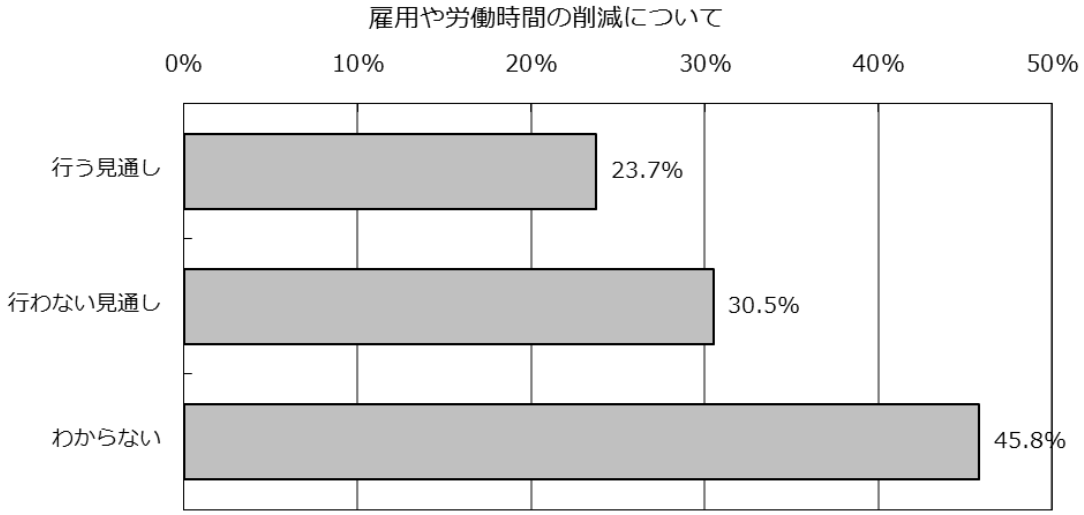
※回答により合計が 100%とならない場合があります。

### Q1. 最低賃金が上昇した際の対応について

最低賃金が仮に 1,500 円となった場合、雇用や労働時間の削減を行う見通しですか。また、雇用や労働時間以外に考えられる最低賃金引上げの対応策についてお知らせください。

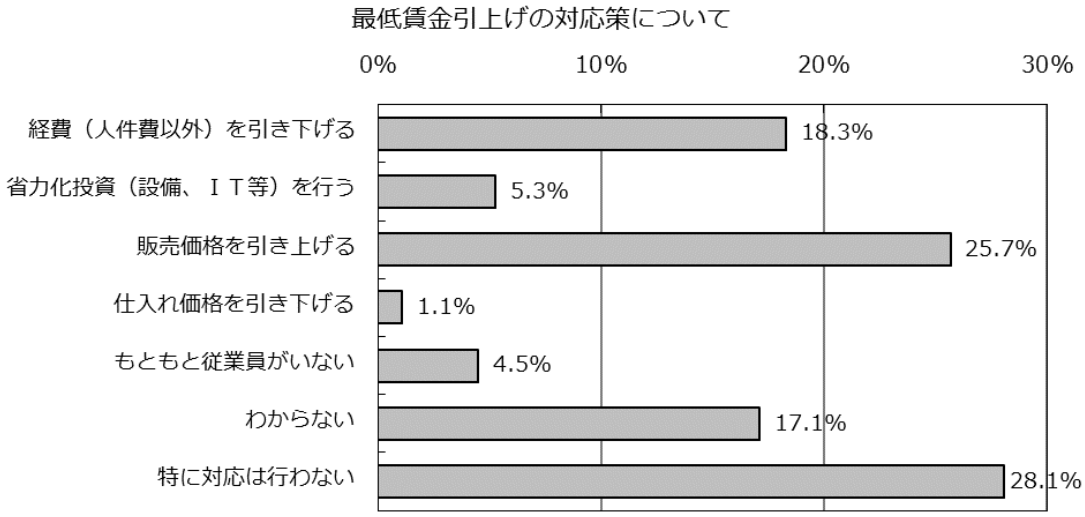
**【雇用や労働時間の削減について】**

**「わからない」（45.8%）が最多、次いで「行わない見通し」（30.5%）が続く**




**【最低賃金引上げの対応策について】**

**「特に対応は行わない」（28.1%）が最多、次いで「販売価格を引き上げる」（25.7%）、「経費（人件費以外）を引き下げる」（18.3%）が続く**



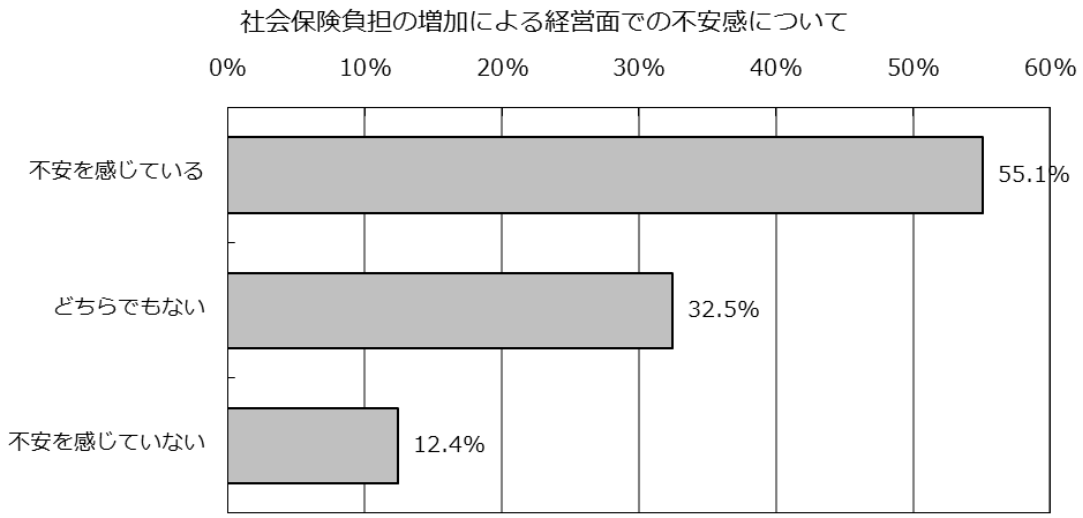
## Q2. 企業における社会保険負担の増加について

企業における社会保険負担（適用範囲や納付額の上昇）の増加が今後も見込まれますが、この流れについて、経営面でどの程度の不安を感じていますか。また、経営面への影響についてお知らせください。

---

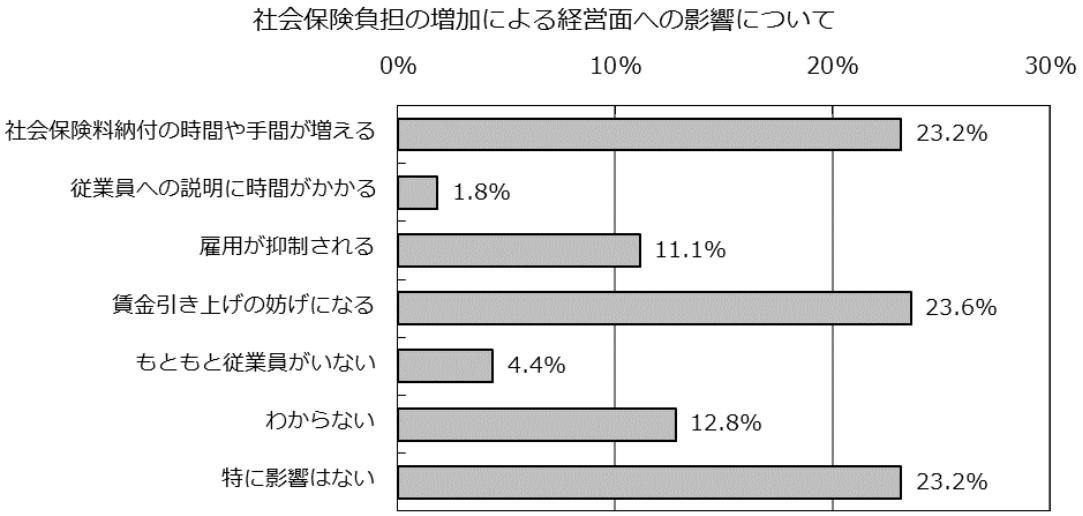
**【社会保険負担の増加による不安感について】**

**「不安を感じている」（55.1%）が最多**




**【社会保険負担の増加による経営面への影響について】**

**「賃金引き上げの妨げになる」（23.6%）が最多、次いで「社会保険料納付の時間や手間が増える」、「特に影響はない」（共に23.2%）が続く**



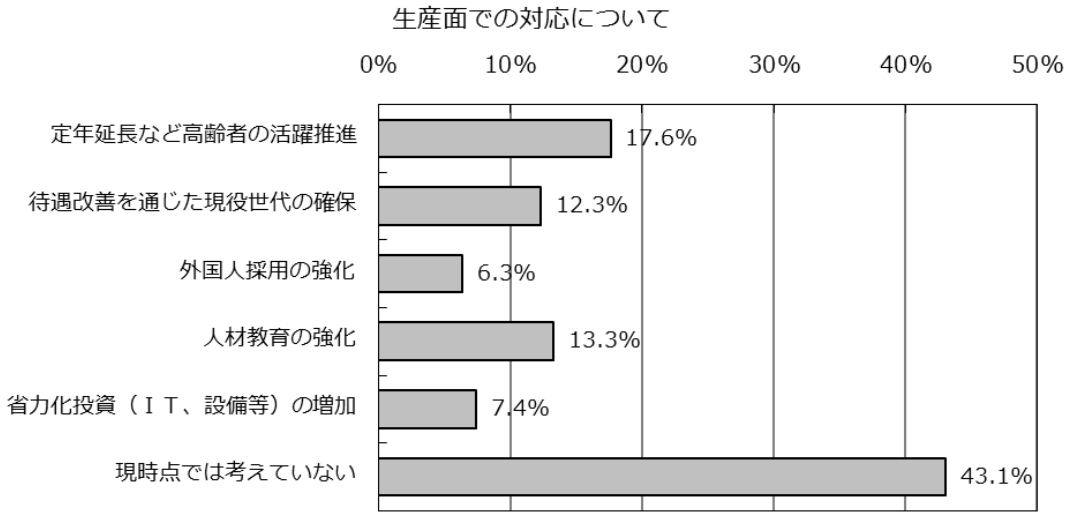
## Q3. 人口の減少や高齢化の進展への対応について

わが国では、2030 年以降も人口の減少や高齢化の進展が見込まれていますが、これらに対しての生産面および販売面の対応についてお知らせください。

---

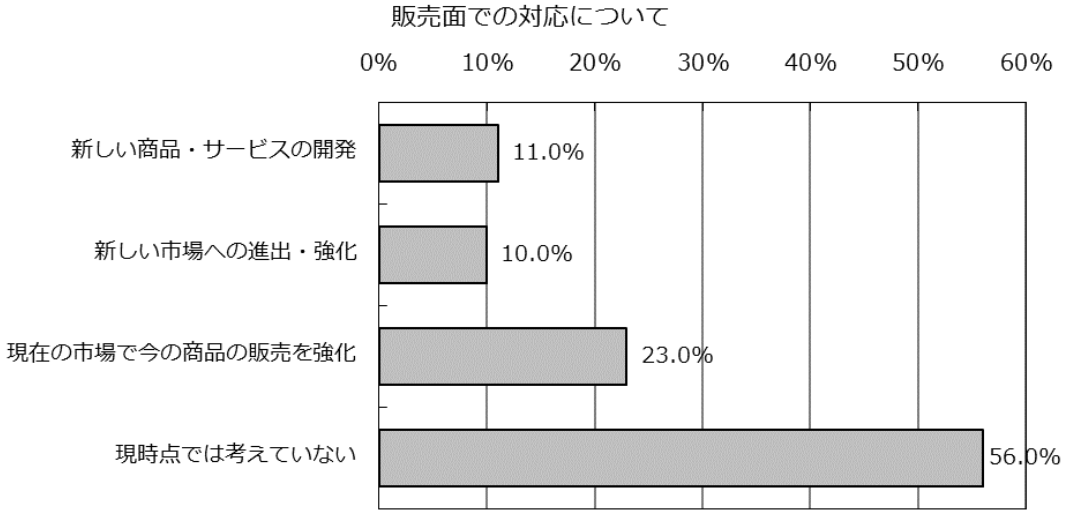
**【生産面での対応について】**

**「現時点では考えていない」（43.1%）が最多回答、次いで「定年延長など高齢者の活躍推進」（17.6%）が続く**




**【販売面での対応について】**

**「現時点では考えていない」（56.0%）が最多回答、次いで「現在の市場で今の商品の販売を強化」（23.0%）が続く**



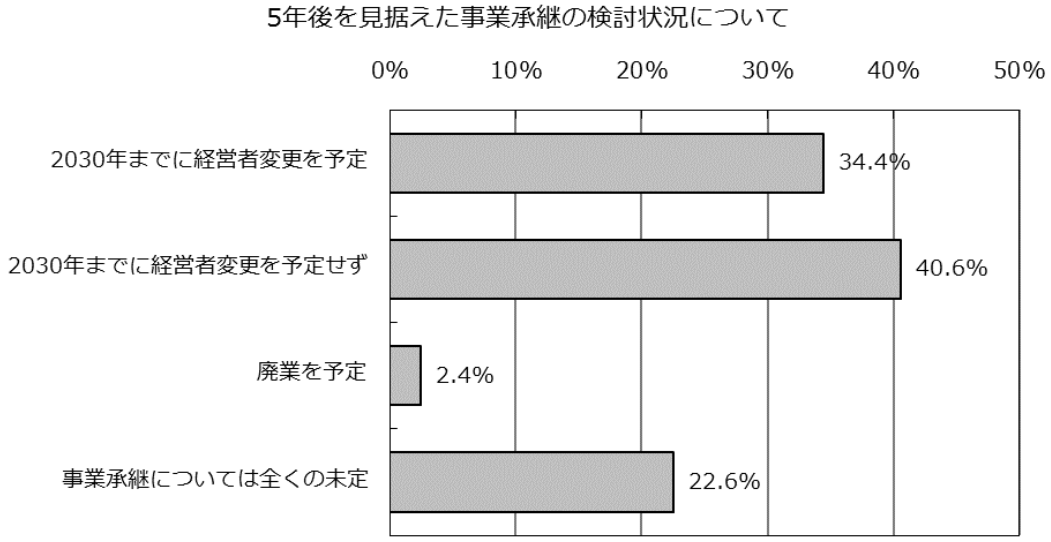
## Q4. 5年後以降を見据えた事業承継の検討状況について

５年後（２０３０年）以降を見据えた事業承継の検討状況についてお知らせください。また、２０３０年までに経営者変更を予定している場合の変更先をお知らせください。

---

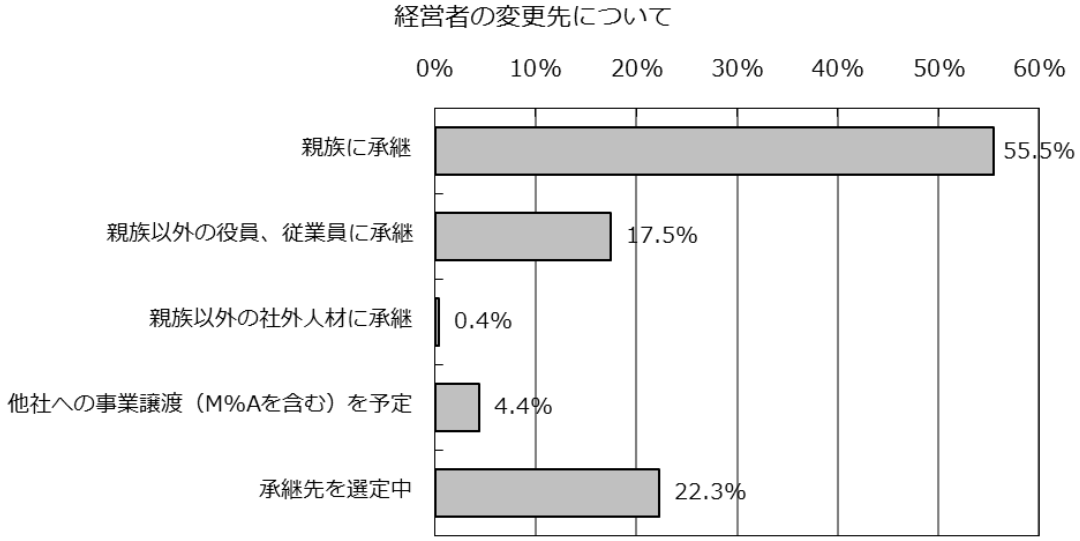
**【5年後を見据えた事業承継の検討状況について】**

**「2030年までに経営者変更を予定せず」（40.6%）が最多、次いで「2030年までに経営者変更を予定」（34.4%）が続く**




**【経営者の変更先について】**

**「親族に承継」（55.5%）が最多、次いで「承継先を選定中」（22.3%）、「親族以外の役員、従業員に承継」（17.5%）が続く**

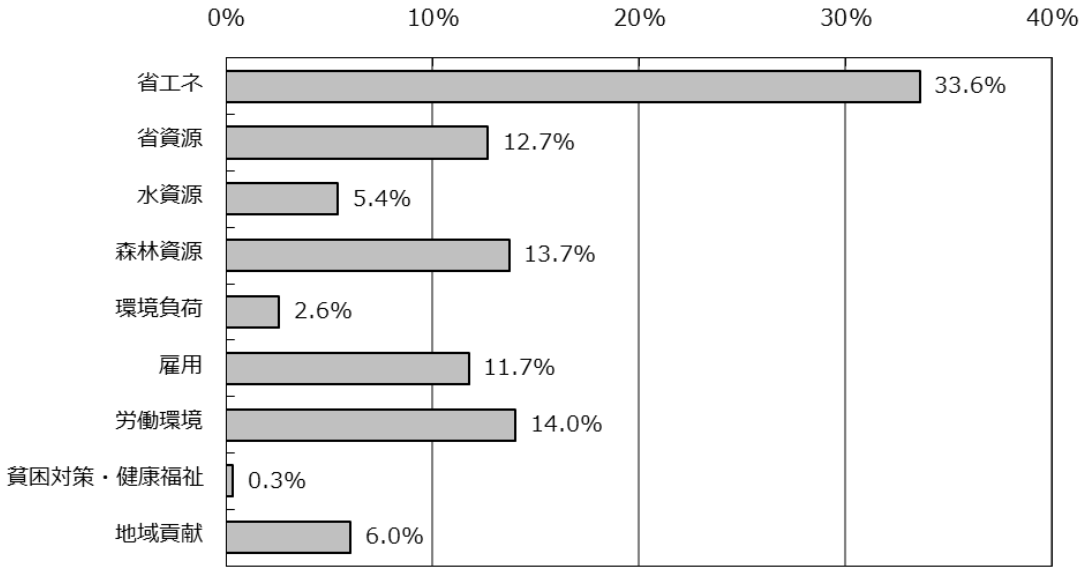


## Q5. SDGsへの取組みについて

ＳＤＧｓ（２０３０年を目途とした持続可能な開発目標）にかかる取組みを行っていますか。もっとも取組みを進めている事項についてお知らせください。

**「省エネ（省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用）」（33.6%）が最多、次いで「労働環境（研修の充実、働き方改革の実施）」（14.0%）、「森林資源（ペーパレス化、緑化・植林）」（13.7%）が続く**

ＳＤＧｓへの取組みについて（複数回答：n=664）




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 省エネ | 省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用 |
| 省資源 | 再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理 |
| 水資源 | 水使用量削減、排水管理 |
| 森林資源 | ペーパレス化、緑化・植林 |
| 環境負荷 | グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減 |
| 雇用 | 女性や高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用 |
| 労働環境 | 研修の充実、働き方改革の実施 |
| 貧困対策・健康福祉 | フェアトレード、途上国支援 |
| 地域貢献 | 防犯、防災、寄付、まちづくり |

今回の誌上セミナーは休載とさせていただきます。

≪よこしん≫景況レポート

2025 年 7 月発行　NO.136

横浜信用金庫　経営企画部

〒231-8466　横浜市中区尾上町 2 丁目 16 番地 1

TEL. 045-680-6912